

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」



京都市の目指す子ども像 3つの姿

1. 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる。
2. 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる。
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる。

自ら学ぶ力



自ら律する力

学校教育目標

「夢に向かってかがやく 笑顔あふれる学校」

～共に学び 認め合い 励まし合い 磨き合える子どもをめざして～

【育てたい資質・能力】

自己指導力の育成（どのような行動が適切か自分で考え、決めて、実行できる力）
意見や立場の違いを理解し、他者から学ぶ柔軟な心（しなやかな心、学び合う力）

めざす子ども像

～友達大好き 松ヶ崎大好き～
と言える子ども
よくかんがえる子
がんばりやり通す子
やさしい子
きたえる子

めざす教職員像

一人一人の子どもを徹底的に大切に
する教職員
「チーム松ヶ崎」をめざす教職員
自分を高めようとする教職員

めざす学校像

子どもが楽しく登校する学校
教職員が誇りを持てる学校
地域と連携し、子どもを育む
学校

知「確かな学力」

めあてを意識した授業の構築
主体的・対話的で深い学びの
実現
共に学び、自己有用感の向上

徳「豊かな心」

自己指導力の育成
人権意識の高揚
道徳教育の充実
規範意識の醸成

体「健やかな体」

子どもの命を守り切る
安全教育の充実
健康の保持・増進
体力の向上

家庭や地域と連携，協働した取組の推進